

作成日：西暦 2022 年 3 月 5 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：患者背景が食行動に与える効果の検討

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

- 2019 年 4 月から 2022 年 4 月まで藤田医科大学病院 内分泌・代謝・糖尿病内科の外来に通院した糖尿病患者
- 2021 年 4 月から 2022 年 4 月まで藤田医科大学国際医療センターに検診を受けに来られた方
- 2021 年 4 月から 2022 年 4 月までに五島医院を受診された患者

2. 研究目的・方法・研究期間

食事療法は生活習慣病の治療の柱と考えられています。しかし、食事は、本人の思考だけでなく、家庭の経済状況、社会状況により大きい影響を受けます。高齢社

会、世代間格差が叫ばれる中、社会的な背景を加味した栄養指導が今後要求されていくと考えられます。しかし、通院している医療機関の規模や検診機関によって、通院患者の社会背景に違いが見られると考えられると予想されますが、エビデンスはまだありません。年齢は食事摂取量を規定する重要な因子であることがよく知られていますが、これが施設（患者の経済的社会的背景）の違いによりその効果が異なるかは不明です。

そこで医療機関（通常の外来通院患者、会員制精密検診施設、郊外の開業医）における患者の食環境について、今回対象の施設では日常診療に用いられている食物摂取頻度調査（FFQ）の結果を利用し、通院している医療機関の違いを加味して、年齢が食行動に及ぼす影響を明らかにします。本研究で診療機関による違いが明らかとなれば、高齢者に対してより注力すべき栄養素に対する効率的な栄養指導が施設ごとに可能になると考えられます。

方法は、カルテから、年齢、性別、BMI、HbA1c、eGFR、AST、ALT、血算（血小板）、Alb、AST、ALT や血小板から計算される肝繊維化指数(Fib-4 index と APRI)、体脂肪率、骨格筋指数、ビタミン B1、ビタミン B12、25OH ビタミン D、糖尿病罹病歴、データを得た施設、FFQ により聴取した食事組成データーを取得し、年齢と食組成の関係を、性別、性別、BMI、HbA1c、eGFR、糖尿病罹病歴、データを得た施設の影響を考慮して（交互作用）解析します。

研究期間は倫理審査委員会承認日～2025 年 3 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ☐ 年齢、性別
- ☐ 身長、体重より計算した BMI、体脂肪率、骨格筋指数
- ☐ 糖尿病罹病歴の有無
- ☐ HbA1c, eGFR
- ☐ AST、ALT、血算、Alb、Fib-4 index、APRI、
- ☐ ビタミン B1、ビタミン B12、25OH ビタミン D
- ☐ 問診より得られた FFQ（総エネルギー、炭水化物エネルギー比、脂質エネルギー比、タンパク質エネルギー比、食物繊維量、塩分量、各糖質エネルギー比、飽和脂肪酸エネルギー比）

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

5. 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚 勝美

既存試料・情報の提供のみを行う機関：

五島医院 五島英一

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

【相談窓口】

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学 講座 教授 飯塚勝美

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

e-mail: katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

なお、この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。